

競 技 注 意 事 項

1. 本大会に適用する競技規則は、2021年日本陸上競技連盟規則と渡島中体連申し合わせ事項による。
2. サブトラックとして競技場内雨天練習場、または競技場外走路を利用すること。投てきの練習はできない。なお雨天練習場を使用する際には、走方向を確認し安全に留意して使用すること。アップについては、**7：30～9：00まで競技場内を開放**する。
3. 貴重品は各自が保管する。
4. 選手はその競技する以外、トラック、フィールドに立ち入ることはできない。また、いかなる選手も本部席前を通過することは出来ない。
5. 選手の招集方法について
招集開始、および完了時刻はすべてその競技の開始時刻を基準とする。

トラック競技 → 競技開始時刻の15分前まで
フィールド競技 → 競技開始時刻の30分前まで

- a. 上記の時間内に第4コーナーゲート付近で行う。招集を完了した後は、競技者係の指示指導に従う。
 - b. 招集完了時刻に遅れた者は棄権とみなし処理する。
 - c. 招集時刻に他種目に出場しているなどの理由がある場合は事前にその旨を当該競技役員に申し出る。
 - d. 競技者係掲示板の点呼用紙に○付け（1次点呼）を行わない。
6. アスリートビブスについて
 - (1)定められたアスリートビブスを、ユニフォームの胸と背にしっかりと付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部のいずれか一方でよい。
 - (2)トラック競技の出場者は招集の際、腰ビブスをランニングパンツの右側やや後方に取り付ける。
 - (3)長距離競技については、黄色の胸ビブスも自分で机の上から取り、胸に付ける。
 - (4)トラック選手はフィニッシュ後、胸と腰ビブスを指定されたカゴに自分で入れる。
 7. 予選におけるトラック競技の走路順、フィールドの競技の試技順はプログラム記載どおりとする。四種競技も、プログラムで確認すること。
 8. トラック競技の予選において棄権者が多く、予選を行う必要人数以下（直線種目及び200m～800mまでは9名以下）になった場合、予選をとりやめ、その種目の決勝の時刻に決勝を行う。
 9. トラック競技で決勝進出者の組合せ、レーン順は主催者で決定し、掲示する。
 10. 競技規則TR16.8により、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は全て失格とする。
 11. リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前まで、ラウンド毎に競技者係に1部届ける。
 12. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。（最後の1人になるまで）

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61		以降3cmあがり
女子	1.15	1.20	1.25	1.30	1.33	1.36	1.39	1.42	以降3cmあがり
男四種	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降3cmあがり
女四種	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35		以降3cmあがり
棒高跳	1.80	1.90							以降10cmあがり

※天候、その他の条件によって高さを変更する場合は審判長が決定する。

13. 表彰について
各種目の表彰式は行わない。賞状はそれぞれの学校の競技終了時、本部へ監督が取りに来る。
また、学校対抗やリレーについては結果発表後、本部へ監督及び選手が取りに来る。
14. 競技用具は、競技場備えつけの用具を使用する。砲丸の検定は行わない。
15. 医務室はダックアウト内に設けてあり、応急処置までの用意がある。
16. 帰宅する時は自分の物、またその周辺を清掃してゴミを持ち帰るマナーを望む。